フレームアームズ・ガール改造キット

レヴァナントアイ・リベンジャー　＋　三二式伍型　漸雷

◆はじめに◆

・本製品はコトブキヤ製「フレームアームズ・ガール」シリーズをフレームアームズ「漸雷」「レヴァナントアイ」風に改造する為のガレージキットです。

・レジンキットの為、塗装する際は表面処理、離型剤落とし、プライマーの塗布が必要になります。

・ピンバイズ等で開口、軸打ちが必要な部分が複数ございます。可動範囲やパーツの角度に影響しますので、最初から目的の大きさで開けず、慎重に作業してください。

・フレームアームズ・ガール本体には大きく手を加えないように設計していますが、一部元に戻せなくなる部分がございます。ご了承ください。また、作業中の本体の破損に関しては当方では責任を追いかねます。

◆対応製品◆

	共通	漸雷		レヴァナントアイ					
	髪	胸	腕	胸	肩	股	腕	脚	背
轟雷	△	○	○	○	○	△	○	○	○
スティレット　※	△	○	○	○	○	○	○	○	○
マテリア	○	○	×	○	○	×	×	×	○
アーキテクト	○	○	○	○	○	○	○	○	○
迅雷	△	○	○	○	○	×	○	○	○
バーゼラルド	△	×	×	×	△	×	×	×	×
フレズヴェルク	△	×	×	×	×	×	×	×	×

※　スティレットはキット余剰パーツを使用した場合

○…対応　　△…一部加工で対応　　×…非対応

推奨製品は、「漸雷」には轟雷か迅雷、「レヴァナントアイ」にはアーキテクトかスティレットが便利です。また漸雷の胸部には「レヴァナントアイに使用しないアーキテクトもしくは迅雷の胸パーツ」を使用する為、轟雷をベースに組む場合でも１体はアーキテクトか迅雷のいずれかが必要になります。

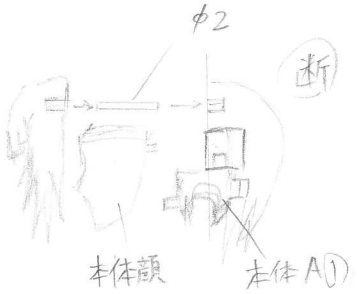
◆本体以外に必要なもの◆

工具	材料、市販部品
・ピンバイズ刃 （1.0mm,1.5mm,2.0mm,2.5mm,3.0mm） ※肘、膝に使う 2.5mm、3.0mm は±0.1mm のものがあると便利です。 ・ハンドドリル刃　4.0mm （必須ではないですが手首ジョイントの接続に便利です。）	・真鍮線 （1.0mm、1.5mm） ・丸棒（材質問わず） （2mm、3mm） ・任意のバーニア（MSG 推奨） ・任意の 3mm 軸付ジョイント（MSG 推奨） ・仮止め用マスキングテープ、両面テープ

【共通部分の組立説明書】

※ 断は一部パーツの断面表記
φは穴または軸の大きさ（mm）を示します。

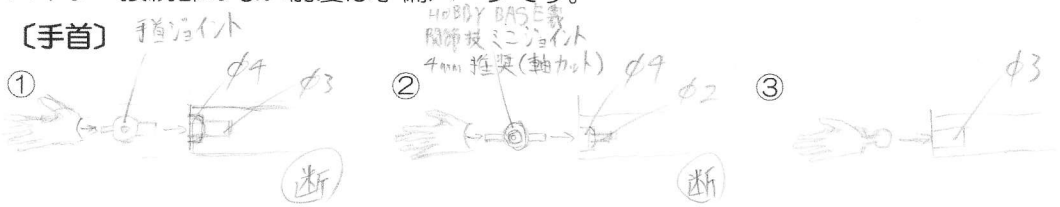
〔頭部〕



入りづらい場合
この部分を削込みます。

A①を頭部基部パーツに差し込み、後頭部に取り付けます。前髪との接続には２㎜棒を使用します。
上手くはまらない場合は前髪の裏側かフェイスパーツの上部と側面を削って調整してください。
バイザー接続部のない前髪は予備パーツです。

〔手首〕



マテリア以降の球形ジョイントを使う場合は①、市販 4mm ジョイントを使う場合は②、
轟雷、スティレットの手首を使う場合は③の通りに開口してください。
４㎜のドリル刃がない場合はデザインナイフや彫刻刀等で凹状に削り込むとジョイントが納まります。

【漸雷の組立説明書】

〔頭部〕

通常型

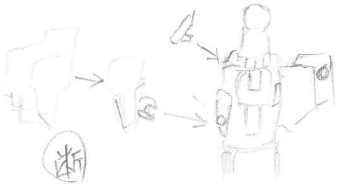
強襲型

バイザー側に２㎜棒を接着し、前髪の穴に接続します。
後頭部ヘッドギアはお好みでご使用ください。

〔胸部〕

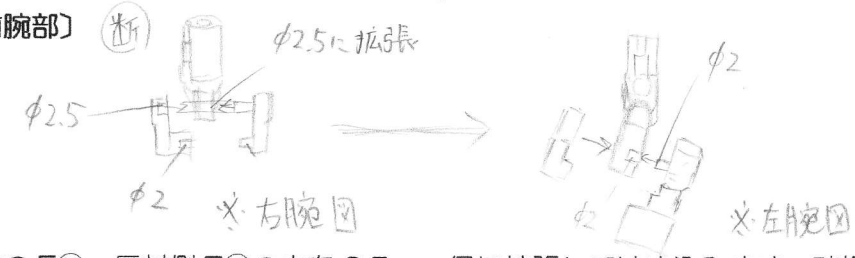
アーキテクト

迅雷



アーキテクトの B③+B④+H⑥、または迅雷の I⑤を加工したものに胸アーマーをはめ込んで接着します。首のパーツは轟雷の I②、または迅雷のフリルパーツに接着します。

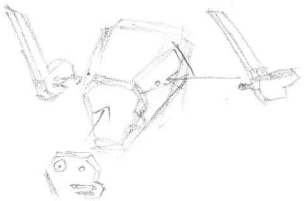
〔前腕部〕

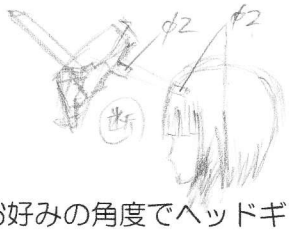


本体の E㉑、反対側 E㉒の穴を 2.5mm 径に拡張してはめ込みます。破損にご注意ください。
大きい方の肘パーツが左側になり、右側を貼り合わせてから裏面の２㎜穴で前腕後面を取り付けてください。最後に前面を貼り合わせます。部品は左右共通です。

【レヴァナントアイ・リベンジャーの組立説明書】

〔頭部〕

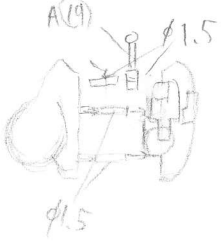




バイザーはお好みで顔と前髪の間に挟んでご使用ください。

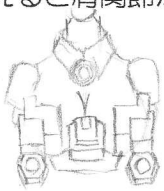
アンテナ基部に 1mm 真鍮線を接着し、お好みの角度でヘッドギアに取り付けます。
次に額センサーを貼り合わせます。 前髪に2mm径を開口し、接続します。

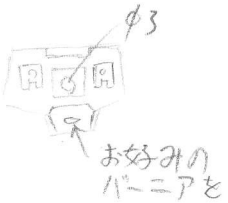
〔胸部〕



※肌色パーツの細いゲートは約φ1.5なので
下4箇所の接続にご使用頂けますが
首A⑲との接続部はより丈夫な材質の
棒の使用を推奨します。

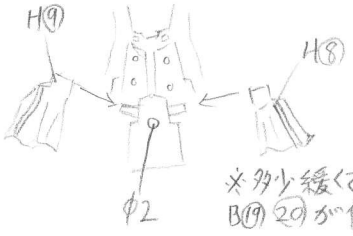
製品説明書通りに組んだ本体からH⑯を取り外し、代わりに肌色成形の胸部パーツを取り付けます。
両方凹面になっておりますので 1.5 ㎜棒を軸にして取り付けます。
この時位置を間違えると肩関節が緩くなってしまうので、仮止めチェックや関節補強をお勧めします。

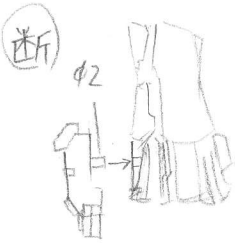




胸部アーマーはお好みの位置で取り付けてください。1mm 真鍮線での補強をお勧めします。
六角形に丸モールドが付いた謎の部品もモールドを参考に 1mm 真鍮線で接続してください。
フリルパーツを通してから本体首（A③）を接続します。
バックパックはそのまま取り付きます。中央の大きな穴を 3mm で開口してください。下の穴はバーニア接続用なので MSG シリーズ等のお好みのバーニアを取り付けてください。
元機体のハンガーを再現する場合は 1mm 真鍮線を曲げて差し込みます。

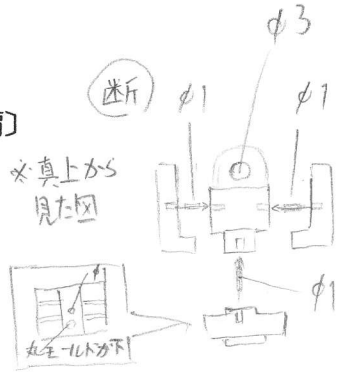
〔股〕

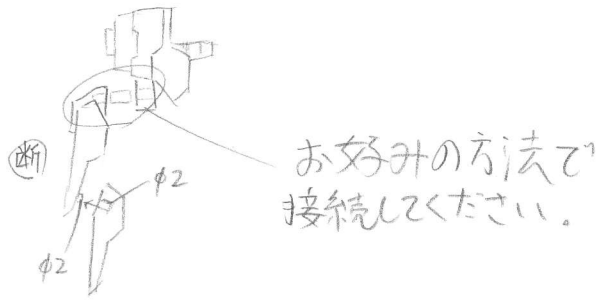




アーキテクトを使用する場合はスカート基部 H⑤を取り外し、本製品付属の基部に差し替えます。
注型時の勘合によってはスカート接続部の軸径が変わるので軸径を調整し。軸打ちしてから差し込みます。基部パーツのガイドに沿って 2mm 径を開口します。股アーマーの裏側に 2mm 軸を差し込み、基部に取り付けます。スティレットの場合は C⑤+C⑧を外した穴にそのまま、轟雷の場合は B③+B⑦を外した部分に 2mm 径を開口して取り付けます。

〔肩〕





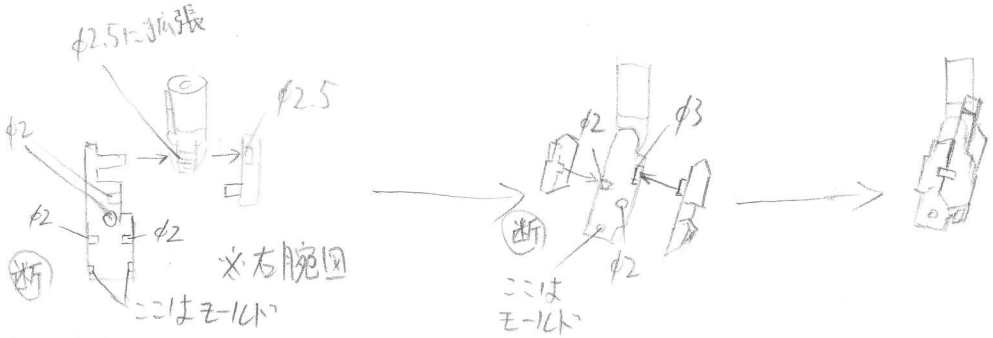
左右共通になります。

基部パーツの四角い部分３面にそれぞれ 1mm 径を開けてから外装を取り付けます。

真横に向く部品（元機体で４連ニードルガンが搭載されている部分）は接続面に丸モールドがある方が下になります。二の腕を通す穴は 3mm で開口します。

下に伸びるアーマーの接続には真鍮線やスプリング、もしくはお好みのボールジョイントをご使用ください。アーマー同士は 2mm で繋がります。

〔前腕部〕

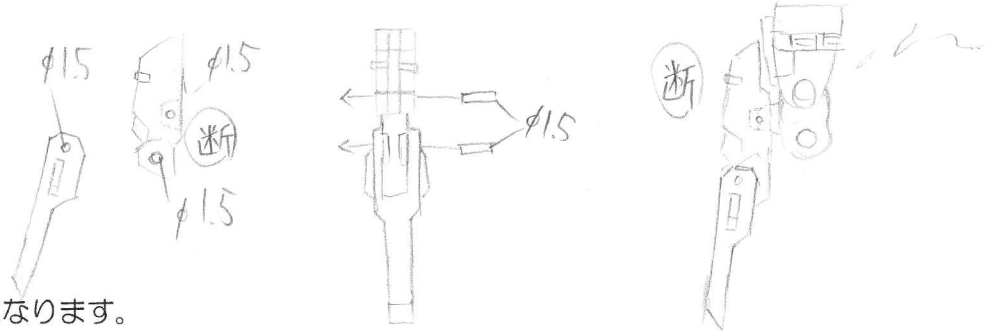


左右共通になります。

漸雷同様、破損に注意して本体 E㉑、E㉒を 2.5mm に拡張し、フレームになる部品を接続します。

こちらは大きい部品が右側になります。全面と側面に 2mm、後面に 3mm 径を開けて外装を取り付けますが、側面の手首に近い方はガイドではなくモールドですのでご注意ください。

〔膝〕



左右共通になります。

膝アーマーの側面凹部に 1.5mm の真鍮線を貫通させて接着します。本体との接続軸になります。

下の穴には下腿に伸びるアーマーの可動軸になります。1.5mm で開口し、下腿アーマーの両面で膝アーマーを挟むように軸を通します。

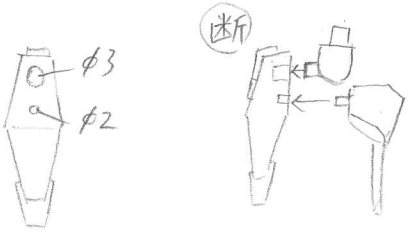
膝アーマーの軸打ち２箇所がずれると完成時に膝が曲がって見えてしまうので、先に小さい径で開口し慎重に軸を設定してください。

尚、スティレットを使う場合は膝 H①+H②を外し、余剰ランナーの F①+F⑦に差し替えます。

〔下腿〕

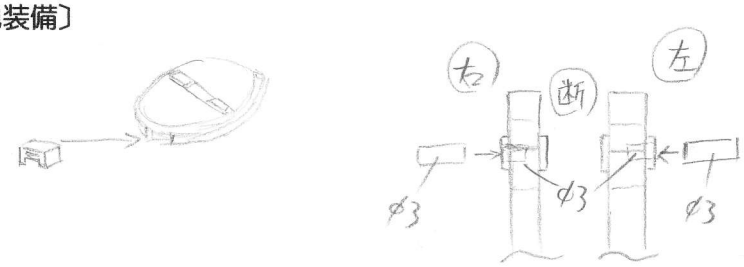
左右共通になります。
基部パーツの下に足首に繋がる 3mm 径を開口し、後面は 1mm 径を開口して斜め下に伸びるアーマーと接続します。基部側面の２㎜径は側面外装接続のガイドとしてご使用ください。
側面外装の膝関節軸に 3mm 径を開口して 3mm 棒を接続し、膝と基部を挟み込むように取り付けます。

〔足〕



左右共通になります。
爪先パーツのガイドに沿って足首に繋がる 3mm、踵に繋がる 2mm を開口します。
本体の足首パーツを接続してから踵を取り付けてください。
尚、スティレットを使う場合は足首パーツのＫ①を外し、余剰ランナーのＦ②に差し替えます。

〔その他装備〕



レドームは先端パーツを取り付け、裏側の 3 箇所を 3mm で開口して、MSG 等のジョイントを使ってバックパックに接続します。スタビライザーは 3mm 径を貫通させてお好みの位置に取り付けてください。スラッシュエッジは差替えで納刀/抜刀を再現できます。鞘は左右共通ですが貫通させずに左右 1 本ずつ 3mm 軸を取り付けることによって本体に装着できるようになります。

その他ご不明な点、また部品に欠品や部品全体の 1/3 以上の大きな成形不良がございましたら、【 shr.ryo@gmail.com 】までご連絡ください。

（C） KOTOBUKIYA

Plus:AT